



ニュースの感情を分析する —景気予測への応用—

知能情報学部 教授 関 和広

研究の概要・特徴

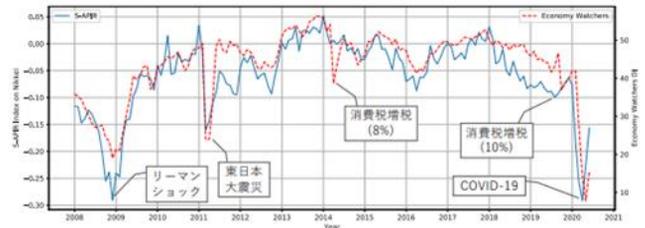
背景と目的

- 政府などが発表する景気指数は金融当局の政策決定や企業の生産計画, 機関投資家の投資判断等に重要
- 従来の景気指数は毎月や毎四半期のアンケート調査で算出されるため, 速報性が低く, コストも高い
- ミクロな景気変動要因が不明
- 他の情報源 (ニュース) を景気指数の予測に利用出来ないか?

- 1クラスSVMによる景気関連文の同定 + 大規模言語モデルによる感情分析
- 要因分析
 - 任意の要因 (語句) を含む文についてのみ景気スコアを集計

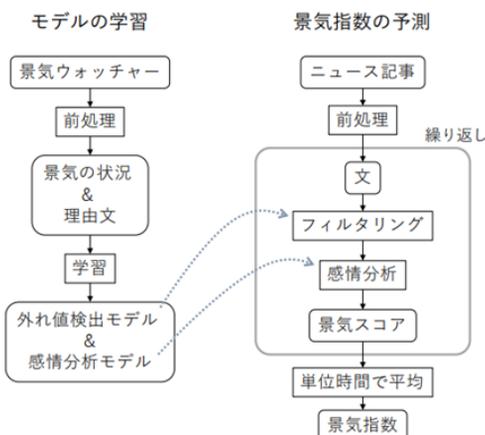
実験結果

- 日経新聞約20年分を用いて評価実験
 - 内閣府の景気ウォッチャー調査と高い正の相関 ($r=0.937$)

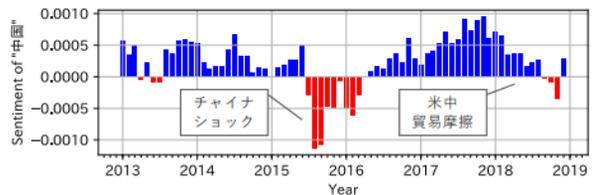


手法

- 景気指数の予測



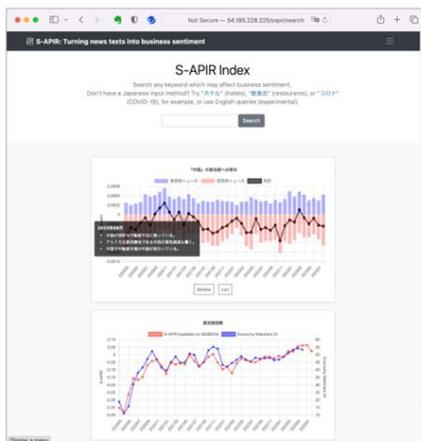
- 要因分析の例「中国」



新規性・優位性

デモシステム

- オンラインニュースを継続的・自動的に取得し, 景気指数を毎日更新
- 任意の要因で分析可能



実用化によって期待される効果

- 一般財団法人アジア太平洋研究所 (APIR) 会員企業向けに2024年7月から公開を開始
- 適応分野/用途
 - 従来の指数の速報値
 - 金融当局, 企業, 投資家にとって有用
 - エコノミストによる月例経済レポートの作成

